

関尻の大わらじ

場所 富津市関尻
県道182号沿い他

富津市南部の峰上地区には、「でえっぽ」と呼ばれる大女が落としていった白とされる「姥石(うばいし)」や、巨人の足跡と呼ばれている所など、巨人伝説にまつわる場所が多い地区です。

関尻の地区境3カ所には、大わらじがぶら下がっており、このわらじは長さ150cm、幅60cmの片方のみで、同じワラで編んだ酒樽と木炭と杉の小枝が添えられています。

「私の村では、厄病は済み(木炭)ました。疫病は過ぎ(杉)ました。この村には、こんな大きなわらじをはく大男が居る。これを見た疫病神は村の入口から引き返していくだろうから、お酒でもてなし、新しいわらじを履いて帰っていただく。」という人々の願いがこめられたものです。

毎年2月の第1日曜日に地区のお堂で、新しいわらじが作られ、古いものと取り替える「綱吊り(つなつり)」が行われています。



巨人の里

いなかみさ 白く

その昔、峰上地区には「でえっぽ」がいたそう。巨人伝説と山丘の城跡、神楽の湧き水とお地蔵様たちがお出迎えする不思議な里へいらっしやい。
参考文献: 『ふじの民話』 中嶋清一著「富津市の民話と民謡」 うちのみさお著「みながみのちかひなし」

でえっぽ(姥石)

その昔、谷に大女が落ちたとも噂されていた。人々はこの大女をでえっぽと呼んだ。大女は大岩ほどの石臼で粥を搥き、団子を作って、猿たちと分け合って食べた。ある年日曜りが過ぎ、大女の足跡に似ていた湯のわが残り、湯のまじりに大女はでえっぽと云った。大女は「この湯では足んねえから、飲ましてくれ」と頼んだが、主には断られた。怒った大女は、命の次に大岩を石臼に入れ、富津から富士山へとまじまじ、歩いていった。そのとき、大女の袖が落ちて石臼を落としてしまった。その石臼は今も谷におり、姥石と呼ばれている。

姥石城跡

環の城跡に攻められたとき、美しい姥石の岩につられ逃げた。敵の兵につまりそうになった姥は、川に身を投げた。以来この場所を姥石城と呼び、10月の静かな夜、川の淵から姥の静かな等々の音が聞こえるそう。
夜つづきをたのしみ! 村では、「姥を打たない!」言い伝えがある。環の城跡に攻められたとき、わらじをつづきながら逃げた姥の足跡が破れてしまったためだそう。

源水(源神社)

源頼朝が勝利の新羅神社を訪れた。「このあたりには水がない」と聞いて源頼朝は、もってて池で地面を突き出した。すると見る間に水が湧き出して池になった。この池は、どんな日曜のときでも、水が枯れないそう。

峰上城跡(環城)

峰上城は、標高約120mの山丘を中心に築造された中世の山城で、武田信典によって建てられたと伝えられている。最高所にある環神社は、天満天神と摩利支天が祀られ、約1000年9月3日と記されている。真里谷武田氏が本拠としたし、里見氏と対峙したが、その後城は里見氏の支配となり、室町末期に廃城となった。*城跡は私有地のため、現地に入る場合は石井家に声をかけるか、下記へ問い合わせください。

見ざる言わざる聞かざる

見ざる言わざる聞かざるの不動尊

大食いもち(山神社)

大田利に1斤のこはんと大きなお餅にもって食べる祭りがある。五穀豊穡を願うこの祭り、食べる餅は3〜4人で、たいは食べきれないが、中にはせーんを食べてしまう大食いもいたそう。*祭りは10月に行われる

関尻の大わらじ

関尻の地区境3カ所に大きなわらじがぶら下がっている。このわらじは長さ150cm、幅60cmの片方のみで、同じワラで編んだ酒樽と木炭と杉の小枝が添えられている。「私の村では、厄病は済み(木炭)ました。疫病は過ぎ(杉)ました。この村にはこんな大きなわらじをはく大男が居る。これを見た疫病神は村の入口から引き返していくだろうから、お酒でもてなし、新しいわらじを履いて帰っていただく。」という人々の願いがこめられている。毎年2月の第1日曜日に地区のお堂で、新しいわらじが作られ、古いものと取り替える「綱吊り(つなつり)」が行われる。

板碑(興隆寺)

板状の石を用いた。供養塔。高さ110cm、幅26cmで室町中期のもの。*現在板碑の複製等は扱っていません

河童の証文(六所神社)

昔、川を渡る馬を川へ引きずりこんで、悪さをする河童がいた。ある日、馬に飛びついたらつぼをつかんでしまい、反対に懸けられた。怒る馬が、河童はこれからは絶対に悪さしないから助けてくれ!と頼り、証文として石の棒を渡した。河童は悪さをしなくなり、証文は神の本の根元を立ててあったと伝えられている。*現在証文の複製等は扱っていません

山崎堂診療所(主屋)

木造平屋建て。回廊造り、柱瓦葺きの伝統的和風建築。国登録有形文化財。

阿夫利神社

阿夫利神社

住吉神社

住吉神社

日吉神社

紅葉の見頃 大いぶよう 11月中旬
もみじ11月下旬〜12月上旬

志駒不動様の霊水

7:00〜20:00

問い合わせ
富津市(市外局番 0439)
商工観光課 ☎80-1291
秘書広報課 ☎80-1225
生涯学習課 ☎80-1342

*河童と巨人のイラストはイメージです

もみじロード 富津市 県道182号 → 県道34号 → 県道80号 → 国道465号 1周約20km